

会議記録		
会議の名称	産業建設常任委員会	会議場所 全員協議会室 担当職員 佐藤
日時	令和2年7月27日(月曜日)	開議 午前 10時 26分 閉議 午前 10時 52分
出席委員	◎菱田、○赤坂、田中、小川、奥野、藤本、竹田	
出席理事者	【産業観光部】 [商工観光課]三宅課長	
出席事務局	山内事務局長、佐藤主任	
傍聴者	市民0名 報道関係者0名	議員0名

## 会議の概要

10:26

### 1 開議 (菱田委員長あいさつ)

### 2 案件

[商工観光課入室]

### 桂川舟運歴史体験・展示施設、千代川乗船場について (商工観光課行政報告)

[商工観光課長 資料に基づき順次説明]

10:31

#### [質疑]

<小川委員>

8月3日に京都府と協議をされるということだが、それまでに、自治会との話し合いの場をもってほしいと考えるがどうか。

<商工観光課長>

ご指摘のとおり、もう少し地元との調整を密にできればよかったです、そこまでに至る現状として、京都府といろいろあり、地元と協議するには、まだしっかりと足元が整理できていなかった。そのあたりを、京都府への要望を踏まえて、一定整理した上で、地元にお願いに行こうと考えている。施設を管理する上で、レジャーーやアクティビティに利用するに当たり、地元の協力は大変重要であると思っているので、今後しっかりと整理して、説明にあがらせていただく。

<小川委員>

要望の中身が見えなかつたので不安であった。思っていた内容で要望を出してもらっていて安心した。それまでに、地域のいろいろな思いもある中で、引き続き地域

と連携してやってもらいたい。10項目の要望を出してもらっているが、協議はうまく進むのか。

<商工観光課長>

今日、視察にマイクロバスで来ていただいたが、当初はバスも入らない間口になっていた。それを要望して、入るように整備していただいた。京都府としても、財政的に厳しいところもあり、市がどこまで経費をかけていくのかという協議も必要になる。

<田中委員>

この要望書はいつ出したのか。

<商工観光課長>

具体的な日にちは今持ち合わせていないが、6月中に出した。

<田中委員>

要望書の8番目で「御理解・御協力」という表現があいまいなので、單刀直入に「お金を出せ」というほうがよいのではないか。5番目も「こういう設備を設けてくれ」とはっきりしたほうがよい。遠慮する必要はないと思う。

<商工観光課長>

遠慮はしていないが、口頭でも一定説明をしている。8番目についても、荷物をおくところがないので、大きめの倉庫を置いてほしいとはっきり要望している。

<藤本委員>

10番目で「短期で採算を取ることは困難であると思われますので、長期的な財政支援について御検討いただきますようお願いします。」とあるが、例えば、スタジアムとタイアップするならば、あそこでは大型バスが入らないと思う。またJRで来たときに、誘導看板などをつけなければわからないと思うがどうか。

<商工観光課長>

確かに、あの間口では大型バスは入らないので、地元と協議して、川上に私有地の駐車場があるので、お借りしたいと考えている。また、誘導看板の設置も考えている。京都府から今年度と来年度に、想定では300万円ずつ、管理費と航路開拓費で補助金をもらうように考えている。管理をしていくには、最低でも700万円はかかると積算をしていて、それ以降も軌道に乗るまでは、京都府には財政的な支援を求めるたいと考える。

<奥野委員>

今後もしっかりと京都府に要望していただきたい。具体的なターゲット層と、将来的にどのように使っていくと考えているのか。

<商工観光課長>

亀岡市では、亀岡まるごとスタジアム構想により、スタジアムを核とした、観光拠点づくりを行っている。七谷川野外活動センターや森のステーションかめおかなどを総合的に活用した観光レジャー整備を考えており、その1つを担うのがこの川の駅になってくると思う。今はコロナの関係で大人数の集客はできないので、ファミリーや小さいグループ向けの活用を考えているので、他施設と連携しながらやっていきたい。また、川を使ったアクティビティだけでなく、バイクや自転車のツーリング拠点やB B Qやビアガーデンなどを行い、市外の人だけでなく、市民にも広く利用してもらえる整備をしていきたい。

<赤坂副委員長>

今のままでは、採算がとれないので大変な施設だと思う。ベースが何もできていない。水回りや電気関係などの設備を整える必要がある。これは国土交通省の補助金

で整備したのか。

<商工観光課長>

京都府が地方創生交付金を活用して建設したものである。

<赤坂副委員長>

しっかりと京都府に支援してもらわなければならない。具体的な事業計画をいくつかつくって、示していく必要があると思う。このままいけば、赤字になる。竹や雑草などで川が見えない。要望をしっかりとし、地元とも協力して新しいビジョンを提示していってはどうか。

<商工観光課長>

できるだけ京都府に協力を求めていき、赤字にならないように採算がとれるように、多くの人に楽しんでもらえる施設としての運営を心がけていく。地元や事業者から今後いろいろな意見をいただきながら、調整していこうと考えている。

<赤坂副委員長>

せっかく今新しいきれいな施設ができているので、できるだけ早く動いていってもらいうように要望しておく。

<奥野委員>

今後、要望書の10項目について進めていくと思うが、順次中間報告をいただきたい。

<藤本委員>

この施設は市直営で管理していくのか。

<商工観光課長>

今年と来年は、市が業務を事業者に委託する形を想定している。その先は、指定管理を設置していく。令和3年の春から準備にかかり、事業者に試験的な活用をしてもらい、何がよいか判断していく。

<小川委員>

新しいアイデアが出るかもしれないで、地元の人にも施設を見てもらっておいてほしい。要望としておく。

<菱田委員長>

先ほど現場で、京都府の井口参事が、「地元の方にかわいがってもらえるような施設にしたい」と言っておられたので、そのようなよい方向で今後運営をお願いする。

[産業観光部退室]

10：51

### 3 その他

<菱田委員長>

今日は残念ながら、川を下っての視察はできなかったが、今後また機会があれば相談させていただく。

散会～10：52